

(1) 情報教育研究会 (ICT の活用・小学校)

会 長 小野川 真紀 (東中筋小)
副会長 橋田 麻紀 (大用小)
事務局 葛西 祐介 (東中筋小)

1. 研究主題 「GIGA スクール構想を見据えた基礎知識の習得」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年5月7日(火)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題決定、夏季研修計画	中村中	46名参加
令和6年7月22日(月)	四万十市教育研究会 夏季研修会 講師：坂本 恭美子 先生 (東山小)	中村小	28名参加

3. 今年度の取り組み

今年度の組織総会で夏季研修の内容を検討した結果、今年度四万十市で導入されたロイロノートアプリの効果的な活用の仕方などを学びたいという意見が多く聞かれたため、東山小学校の坂本恭美子先生を講師にお招きして、講話・演習の研修を行った。



4. 令和6年度 四万十市教育研究会 夏季研修会

日時：令和6年7月22日(月)

内容：新しい時代のICTを活用した学び

講師：坂本 恭美子 先生 (東山小)

(1) 講演「新しい時代のICTを活用した学び」

- ①今求められている教育について
- ②児童主体の(～したい)が生まれる授業実践
- ③ロイロノートの基本的な操作について
- ④ロイロノートの実践事例 等

スライドで苦手意識を持った先生方にも分かりやすいように講演

(2) 演習「プレゼン作成」

「高知県の魅力を発信し経済効果を上げるプレゼンを作成しよう！」

①ねらい

- ・ロイロノートアプリを四万十市でも導入したことから、効果的に活用し教育効果を上げるため、ロイロノートの扱い方に慣れる。
- ・デジタルを活用してプレゼンを作成する楽しさを体感する。

②内容等

- ・「高知県の魅力を発信し経済効果をあげる」を各グループで1本のプレゼンを行う。
- ・グループ分けは、研修会当日配布の名簿による。

教師が授業をどうデザインするか

▶「個別最適な学び」「協働的な学び」は新しい概念ではない。唯一新しいのがICT

▶情報社会の進化→短時間の情報処理量・確実さと多面さ・深さ

蓄積 (収集・選択)

共有 (個人思考、自発的対話、活用 (まとめ・整理))

メモ (個人思考、自発的対話)

共有 (個人思考、自発的対話)

プレゼン (個人思考、自発的対話)

端末活用の7つのしやすさ

- 書きやすい 消しやすい
- 動かしやすい 探しやすい
- 共有しやすい 移動しやすい
- 大きくしやすい 着目しやすい
- 繰り返しやすい 確認しやすい
- 残しやすい 比べやすい
- 説明しやすい まとめるやすい

タブレット・アプリ ◆ロイロノート

基本的な操作

- カメラカード
- テキストカード
- 地図カード
- ファイル
- テスト・アンケート
- シンキングツール

思考の共有

プレゼン

ワークシート

アンケート

授業観察

個人のノートに書いた内容をスクリーンショットでロイロノートに貼り付けて黒板個人のタブレットに配信し共有する。

思考を比較・分類・統合する等整理する。ペアや全体で共有する。黒板のスクリーンを活用する。シンキングツールの活用。

生活科や総合的な学習の時間で学習した内容を報告・提案する。黒板も活用できる。

教師の自作のワークシートや市販のドリル等を資料箱で提出。アンケート機能の活用

授業の様子を撮影し気づきを付箋に貼る。授業改善に役立てる。

- ・使用するアプリはロイロノート。
- ・1時間の作成時間の後、報告会を実施する。（報告は1グループ5分以内）



＜夏季研修会の感想より＞

- ・講師の坂本先生より南郷小学校での実践を紹介いただき、活用の具体例を知ることができた。また、デジタルのよさ、アナログのよさの融合が重要と教えていただいた。挙手・発言が苦手な子どももタブレット端末に意見を投稿することで話し合い活動に参加できるという利点がある。一方で、話し合いの基本である「目と目を見て話す」ことの大切さも再認識できた。普遍的な指導を踏まえた上でいかにデジタルを有効的に使っていくか、自校でも試行錯誤し共有化を図りながら活用の促進を図りたい。
- ・演習では、「高知県の魅力を発信し経済効果を上げる」というタイトルで各グループでのプレゼン作成とその発表が行われ、同一タイトルで作成しても、取り上げる素材や切口など視点の違いによりバリエーション豊かなプレゼンになることを体感することができた。また、プレゼンにおいてもロイロノートを有効に活用することが可能であることを学ぶことができた。
- ・講演から端末を活用することでたくさんの「しやすい」があることを知れた。実際にロイロノートを使ってプレゼンを作ってみたが、思ったよりも簡単にできて子どもたちにも体験させてみたいと感じた。ロイロノートの基本的な操作ができるようになれば、授業で有効活用できそうなものがたくさんあると感じた。日々の授業の中でとにかく使ってみてみたいと思った。
- ・ロイロの活用法をたくさん知ることができた。まだ、実践していないこともあるのでこれから実践していきたい。プレゼンでは、実際の授業でも行っているが、ロイロだと簡単に短時間にプレゼン資料が作れることを実感した。その上、高知県の素敵なおとこを再認識できて楽しかった。

5. 今年度の成果と課題

＜成果＞

- ・坂本恭美子先生による講演や演習を通して、ロイロノートの基本的な操作の仕方や活用事例を多数紹介していただき、苦手意識を持つ教員も楽しく学ぶことができた。また、授業等でのロイロノート活用への意欲が高まった教員も多く、大変有意義な研修となった。

＜課題＞

- ・本会は会員数が多く、夏季研修会の会場及び駐車場の確保が難しかった。また、そのことから当初周知した期日を変更しての開催となったため、数校の校内研修（外部講師招聘）と重複し本会を欠席せざるを得ない教員がいた。来年度は、5月の組織総会后早めに会場及び駐車場を確保し、会員に周知する。